

半田更生保護サポートセンターだより

情報発信を通じて更生保護の諸活動に対して地域の理解や協力が十分に得られるように努めます。

vol. 10 2024.01



“社会を明るくする運動”キックオフイベント（2023年7月5日半田市役所にて）

第73回“社会を明るくする運動”キックオフイベント 社明を支える“地域のチカラ”



“社会を明るくする運動”は元々、地域住民から自発的に生まれた活動です。社明運動の名のもとに、更生保護ボランティアが日本各地で地域に根ざした様々なイベントや活動を行っています。このキックオフイベントは、現場の更生保護ボランティアが持つ“地域のチカラ”を多くの方に知っていただくために、全国6ヶ所をオンラインでつなぎ、それぞれの地域での取組を紹介する法務省の企画です。

令和5年7月5日、半田保護区保護司会もこの企画に参加し、半田市役所からオンラインで発表しました。当日は、名古屋保護観察所より所長・地区担当保護観察官も駆け付けていただきました。

当保護司会からは、延べ1万5千人もの人を救済した「榊原弱者救済所」の紹介をしました。

「榊原弱者救済所」は、明治32年に刑務所からの出所者や、捨て子・老人・重度の障がい者等を保護・救済する施設で、半田市鴉根地区にありました。日本初、日本最大の民営の救済所です。この救済所を作った男が榊原亀三郎です。

亀三郎は、28歳頃まで「べっこう亀」と呼ばれた侠客で、多くの子分をかかえる親分でした。しかし、彼は金原明善と交流する中で影響を受け、更生保護・弱者救済に人生を懸けることを決意し、組を解散し救済事業を始めました。若い衆と共に開墾を始めましたが、地元の理解もなかなか得られず、人々の目は冷やかでした。2年がたち、懸命に弱者を救う姿に地元の人々の心も動き、地域の豪商や旦那衆も救済所を支援するようになりました。

昭和初期まで30年にわたり社会的弱者を保護・救済してきた施設でしたが、57歳で亀三郎が不慮の事故により他界した後、閉鎖に追い込まれました。その後、太平洋戦争もあり、この存在は忘れられていきましたが、70年以上の時を経て平成22年、この亀三郎の偉業をたたえ、後世に伝えようと、「榊原弱者救済所保存会」を立ち上げました。

これを通じて、地元では更生保護の意識が高まり、今年度中に半田市が地方再犯防止推進計画を単独で策定する見通しとなっています。

このイベントの内容は、法務省Kou-Tudoチャンネルより閲覧できます。左記QRコードを読み取り、ご覧いただければ幸いです。



イベントの内容は、こちらから閲覧できます

“社会を明るくする運動”作文・ポスターコンテスト表彰式

第73回“社会を明るくする運動”の事業として、今年度は小中学生に作文、中学生にはポスターも募集し、作文は466名、ポスターは35名の応募がありました。

作文コンテストでは、有脇小学校6年 外山司^{とやましきと}絆^{ひき}さん、青山中学校1年 和喜田千里^{わきたちさと}さんが優秀賞に選ばれました。また、両作品は“社会を明るくする運動愛知県推進委員会委員長賞を受賞し、大村愛知県知事より表彰されました。

ポスターコンテストでは乙川中学校3年 森山響介^{もはやまひびき}さんが最優秀賞、乙川中学校2年 近藤杏奈^{こんどうあんな}さんが優秀賞に選ばれました。

作文には、犯罪や非行を防止するため人と人のつながりの大切さ、また再犯を防止するための社会への理解などが書かれていました。

ポスターでは、失敗しても立ち直ることができること、道を踏み外しても修正することができると描かれていました。

ポスターは令和6年1月に市役所1階ロビーに展示されます。



和喜田千里さん 近藤杏奈さん 森山響介さん



外山司絆さん

再犯防止推進のためのセミナー

半田市において今年度中の策定を予定している「半田市再犯防止推進計画」にむけて、さる8月28日に講師に日本福祉大学社会福祉部 湯原悦子教授を招き、地方自治体における『再犯防止推進計画』の必要性」と題したセミナーが開催されました。湯原教授はこれまでに、名古屋市、豊田市において再犯防止推進計画の策定&実行に関与されており、この計画の背景、国の施策について、犯罪・非行の実例を紹介しながら、地域社会がいかに連携して再犯防止に取り組む必要があるかについて話をしていただけでした。

再犯防止

や立ち直り支援がもつ問題の多種多様な性や、各自治体の体制に差のある中で、策定に向けて検討中である当市の担当部署と保護司会が、すでに策定済みの自治体の実行状況をセミナーを通して伺い知れたことは非常に有効であったと感じました。また、湯原教授による同様の講演が、半田市議会 創造みらい半田会派勉強会として、10月13日に開催されたこともここで報告しておきます。



8月28日 半田市役所にて

スポーツクラブとのコラボ企画 “ソシオ成岩×保護司会”

「ソシオ成岩スポーツクラブ」と共催で「自分を見つめ、自分を知り、自分を高めよう」をテーマに、ワークショップを実施しました。

8月21日・28日の両日、「働く上で、私が大切にしていること」を保護司から参加者に話をし、その後「『生きる力』は君の中にある」（更生保護法人日本更生保護協会発行）を活用したワークショップを実施しました。

ワークショップでは、全員がどう感じ、どう思うのかを自分の言葉で発表でき、自分自身を見つめることができました。と思います。

ルールを守りスポーツを行うことから、社会のルール遵守へも繋がりを持つことができるようになります。

一人一人が自分を大切にし、自ら生かせる力をつけることが大切です。自分を知り、他人を思い、寄り添い助け合う地域になれば、犯罪・再犯が減り、つらく悲しい思いをする人を無くせます。



ソシオ成岩スポーツクラブ ソシオテラスにて

半田更生保護サポートセンターだより vol.10 2024.01
〈お問合せ先〉半田更生保護サポートセンター TEL 0569-84-0683
半田市東洋町二丁目1番地 半田市役所2階

発行：半田保護区保護司会
協力：半田商工会議所



半田更生保護サポートセンター
公式Facebook

いいね!お願いします



半田更生保護サポートセンター
公式X

フォローお願いします

